

書く！描く！撮る！子どもたちが作るローカルマガジン



#いずら



伊豆の国市および近隣の子どもたちが、クリエイティブのプロと一緒に自分の住む地域やまちを取材して、記事を書いて、イラストを描いて、写真を撮って、地域情報誌（ローカルマガジン）を作りました。

Nirayama
葦山



いずっこ
IZUCCO
Vol.1

地元の子どもが



お友達に教えてあげたい



伊豆の国市のいいとこ



Nagaoka
長岡

Ohito
大仁



こどもローカルマガジン
COLOMAGA
コロマガプロジェクト
伊豆の国市 project

未来の伊豆をデザインする子どもたちとプロが創る情報誌
IZUCCO

2019年11月発行 発行人 IZUCCO制作実行委員会
静岡県伊豆の国市原木627 代表 中野 あゆみ

こどもローカルマガジン
COLOMAGA project
コロマガプロジェクト 伊豆の国市

コロマガプロジェクト伊豆の国市版IZUCCOは伊豆の国市市民提案型パートナーシップ事業として実施しています。

目次

04 元気起爆Radio! でパーソナリティ体験
FMいずのくに

05 笑顔と元気でしあわせをお届け!
しあわせ印農園

06 あゆの友釣り発祥の地
「大仁」の旅館であゆ釣り体験
コナステイ

07 ホットできるまちの案内所
大仁駅前
1軒の案内所

08 地元で愛され20周年! ナポリピッツァ &
生パスタ専門店でのピッツァ作り体験
POMODORO

09 自転車が入れるホテル
KONASTAY

10 豊かな自然と良質の水に恵まれた牧場で
パン・バター作り体験
大美伊豆牧場

12 取材MAP
IZUCCO MAP

13 小野登志子
市長インタビュー

14 編集後記

15 コロマガプロジェクトの
活動について



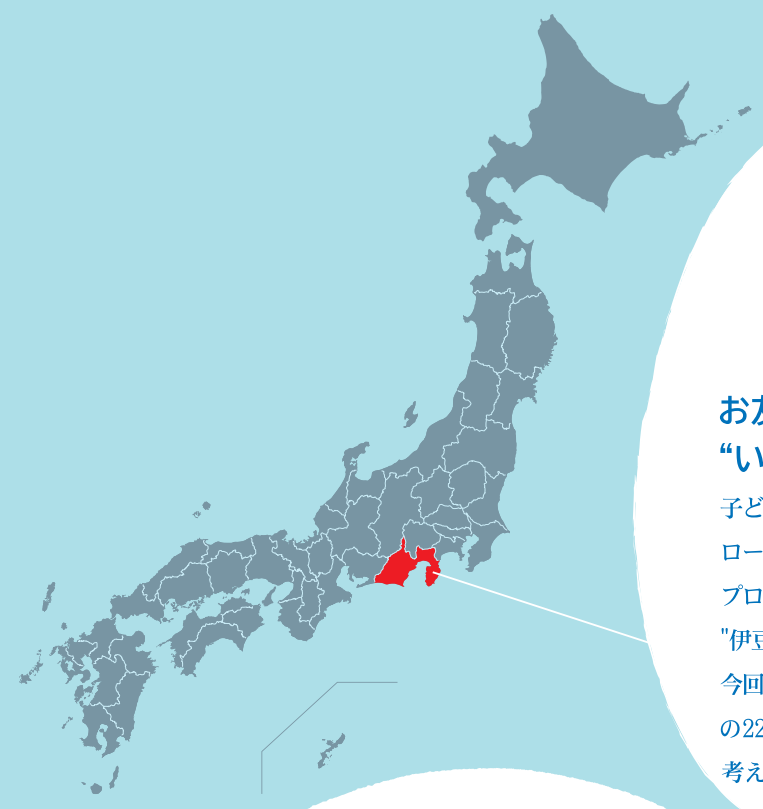
コロマガは「ESD」の実践活動



2013年度に産声をあげたコロマガは、子どもたちがこの制作を通して地域に愛着や誇りを持ち「持続可能な社会を創りたい」という気持ちを育てられる実践的な活動と言えます。この「持続可能な社会の創り手を育てる教育」がESD(Education for Sustainable Development)と呼ばれているものです。同じ頃、2015年国連サミットで世界のリーダーが集まって2030年までの目標を定めました。これがSDGs(Sustainable Development Goals)といわれる17の目標と169のターゲットからなるものです。今、世界中でこの目標を達成するために官・民・学のあらゆる機関を上げて取り組んでいます。そしてこのSDGsを達成するためのエンジンがESDであるといわれています。

子どもたちの未来のためにみんなでコロマガの取り組みを応援してください。

ESD-J理事 大塚明



コロマガプロジェクト 伊豆の国市版



お友達に教えたい伊豆の国市の
“いいところ”をコンセプトに制作しました。

子どもたちがクリエイターとコラボレーションして創ったローカルマガジン(地域情報誌)がこの「IZUCCO」です。プロにカメラや取材やイラストのレクチャーを受けた子どもたちが、“伊豆の国市のいいところ”取材して、まちの魅力を表現しています。今回のIZUCCO Vol.1は、公募で集まった小学3年生から6年生の22人が参加。IZUCCOという名前は、6年生の男の子が家族と考えてくれました。

こどもローカルマガジン COLOMAGA コロマガプロジェクト 伊豆の国市

わたしたちは、
このコロマガプロジェクトを通して
こんな社会を実現していきたいと
思っています。

IZUCCOでは、一緒にローカルマガジンを作ってくれる小学校3年生から6年生までの子どもで、文章を書いたり、絵を描いたり、写真を撮ったりするのに興味がある子を募集しています!!
一緒にやりたい子は、制作実行委員会までご連絡ください!
連絡先: colomaga.izunokuni@gmail.com

- 子どもたちの創造性・独創性を育み活かす機会が増えること
- ひとりでも多く自己肯定感が高い子どもたちが増えること
- 大人と子どもが一緒に何かを創り出す関係が増えること
- 地域コミュニティに関心を持つ大人と子どもたちが増えること
- 「デザインの力」が理解できる子どもたちが増えること
- ふるさとに住みたい、ふるさとで働きたいと思う子どもたちが増えること
- ふるさとの良いところを知って自慢できる子どもたちが増えること

こんなことが増えれば、日本の未来は
とても明るい!

笑顔と元気でしあわせをお届け！

しあわせ印農園

【しあわせ印農園】伊豆の国市四日町1084 ☎090-8953-9221

トマト

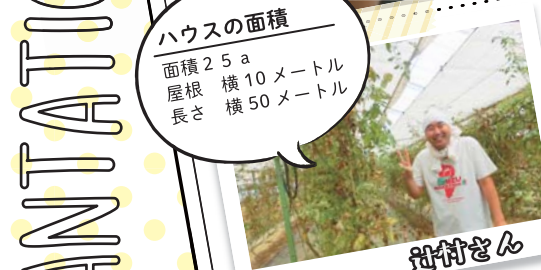


AMAKUTE SUKOSHI SUPPAKUTE TOTEMO OISHIKATTA DESU

TOMATO PLANTATION VERY DELICIOUS!



「く」の字の字を軽くおすこ...



ハウスの面積
面積 25a
屋根 横 10メートル
長さ 横 50メートル



どこに売っているのか？
しあわせ印農園のトマトはグリーンプラザ、大仁まごころ市場、村の駅で売っています。

農園の名前の由来

農園の名前の由来は、代表の辻村幸久さんの「幸」の文字を使ったこと、しあわせ印農園となったことです。最初は「何故こういう名前なのだろう」と疑問に思っていたけれど、こだわりのあったことと、素敵な名前だと思いました。

トマトの特長

しあわせ印農園で育てているのは「アイコ」というミニトマトです。緑色のトマトは簡単に採れます。採ると、プツと音がして簡単に採れて気持ちが良いです。トマトは少し酸っぱく感じたり、甘いトマトもあってとてもおいしいです。

名前の由来 & トマトの持ちよう

取材・イラスト／真理・侑花・優音・リコ
文／真理・侑花・優音
写真／リコ

収穫について

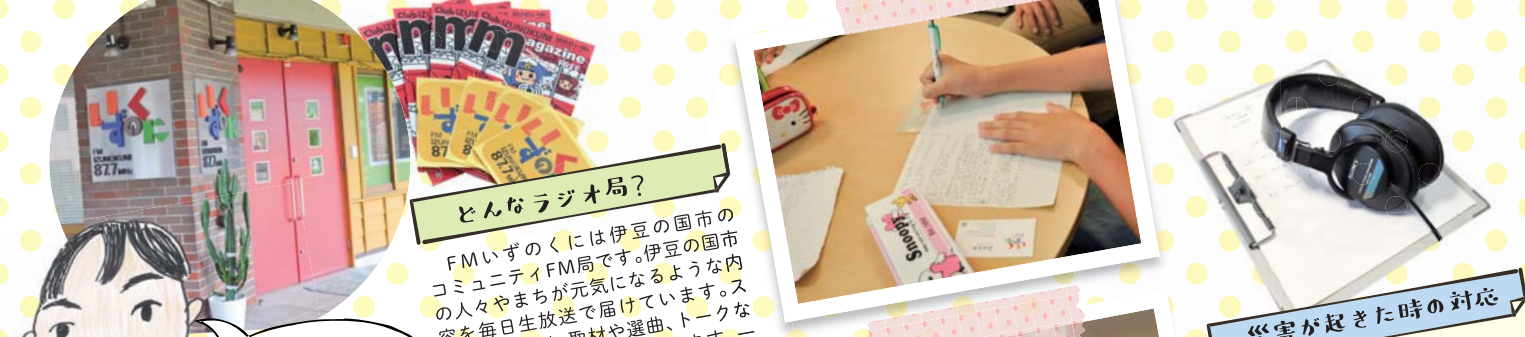
トマトは8月の終わりに9月に苗を三千本近く植えます。3ヶ月経った12月〜1月頃から収穫が始まります。割れているものや変な色のトマトは避け、毎日午前7時〜13時ごろまで収穫します。4月〜5月ごろが収穫のピークです。1日では採りきれない量があるので、夜中まで採るそうです。とてもたくさん採れるトマトがなっています。

その他

温度の管理と水の管理と配分に気を付けています。アイコは寒さに強いので、暖房機を使いません。7月の暑い時期にはハウスの中が40℃にもなり、日差しが強い13時から15時まではハウスに入るのを禁止しています。ハウスの屋根を開けたり、カーテンや日よけを付けていたりして温度を保っています。

トマトのアピールポイント

しあわせ印農園のトマトのアピールポイントは「甘さ」です。時期によって味が変わりますが、味付けはなくてもおいしいトマトなので、そのまま食べるのが一番おいしいです。



令和元年9月よりリニューアル！より多くの伊豆の国市の情報を届けます。
鈴木佑典 局長

どんなラジオ局？

FMいずのくには伊豆の国市のコミュニティFM局です。伊豆の国の人々やまちが元気になるような内容を毎日放送で届けています。スタッフの方は、取材や選曲、トークなど全ての仕事を一人で行います。一人で話を続けるのはとても大変なことですが、すごいなと思いました。

災害が起きた時の対応

すぐに「地震があった」と放送します。大雨の時は早めの避難ができるように、「私も逃げます」と聞いている人も一緒に行動に移せるような（逃げてもらえるような）言葉を使っています。そして被災後は明るいニュースを取り入れるようにしています。

ラジオに生出演



どんな人が聞いているんだろうと気になった

放送についてのバランス・モットー

地域にお得な情報を発信し、良いニュースも悪いニュースも平等に流します。「こういう問題がある」と投げかけ、嘘をつかないのがモットー。

いろいろな人に聞かれると思うとすごく緊張した

パーソナリティは、空気を変えたり受け止めるのが上手！



FM 87.7MHz

FMいずのくに

【株式会社FMいずのくに】伊豆の国市四日町772 葦山文化センター内 ☎055-940-0877

取材／真理・侑花・優音・リコ
文／侑花・優音
イラスト／侑花・優音・リコ
写真／優音・リコ

ホッとできるまちの案内所

大仁駅前

街の案内所



【街の案内所 - まちすけ -】
伊豆の国市大仁597-2
☎0558-76-0030
営業時間/10時~16時
定休日/毎週水曜日

まちすけ

大仁駅前
まちすけ

まちすけは、大仁駅前
まちすけ

まちすけは、大仁駅前
まちすけ

まちすけは、大仁駅前
まちすけ

あゆの友釣り
新聞

取材/さくら・晴太・竹虎
・ツバキ・菜緒・澤菜
・南実・龍星
文章/菜緒・澤菜・南実
イラスト/さくら・晴太・菜緒
・澤菜
写真/晴太・竹虎・菜緒



地域の憩いの場
まちすけは、大仁駅の目の前
にある案内所です。長嶋茂雄
ロード付近を案内してくれま
す。まちすけが出来た理由も長
嶋茂雄ロードを案内する為だそ
うです。長嶋茂雄ロードの周り
には昔ながらの洋食屋・洋服屋
など、ホッとできる場所がたく
さんあります。
店内では、おみやげや野菜・布
でできた小物を売っています。
その小物を片手に、伊豆の国市
のおすすめスポットをまわって
みてはどうでしょうか??



お話をうかがったNPO法人伊豆学研究会
橋本 敬之 理事長



一二三荘

おとりは
命度が
~あゆ釣り~

【一二三荘(ひふみそう)】伊豆の国市大仁503 ☎0558-76-3123

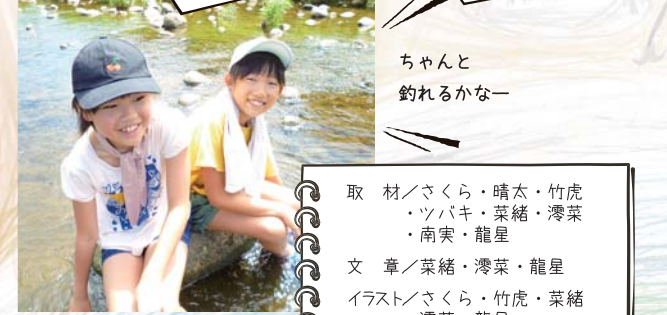


初めてあゆを食べました。今まで
食べた魚の中で一番おいしかったです。

あゆの友釣りは、伊豆の国市では
有名な釣りです。夏が旬のあゆは塩
焼きにすると、とてもおいしいです。
友釣りを教えてくれたのは、井川
さんと小櫻さん。オトリやという場
所で、オトリを準備してから川へ行
きます。オトリは、養殖のあゆです。
オトリに使うのは、養殖のあゆです。
あゆは攻撃性が強い魚なので、他の
攻撃をします。その習性を利用して
のが友釣りです。
川の水は冷たくて、あゆが旬の夏
は気持ちがいいです。石の上には苔
がたくさん生えています。とてもす
べりやすく、転ぶと大変なので少
し気を付けてください。友釣りで少
した後は、あゆの塩焼きを楽しめま
す。
あゆの塩焼きは、身はふわふわで
おいしいのですが、頭はとって
も苦くてあまり食べられません。
大人になったら分かる味なんですぞ
です。また大人になったらランペンジ
ョーです。楽しくておいしいあゆ
釣り、ぜひ行ってみたいは??



エサではなく、
オトリあゆで釣りました。



釣りは
しんぼうが大切!

ちゃんと
釣れるかなー

取材/さくら・晴太・竹虎
・ツバキ・菜緒・澤菜
・南実・龍星
文章/菜緒・澤菜・龍星
イラスト/さくら・竹虎・菜緒
・澤菜・龍星
写真/さくら・竹虎・菜緒
・南実

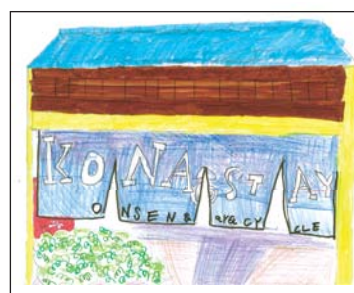


すーい!
いわ#150円

自転車が入れるホテル

KONA STAY

【コナステイ伊豆長岡】伊豆の国市古奈307 電話055-948-0055



もーず子新聞

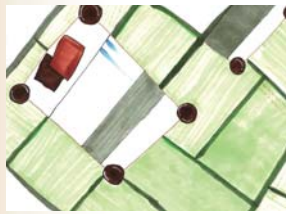
コナステイは、2019年の3月25日にできた新しいホテルです。案内してくれた人は、鈴木香織(すずき かおり)さんです。コナステイのキーワードは「自転車」です。そのため、このホテルでは自転車を部屋に入れることができます。それと、自転車を貸してもらう事もできます。



取材/朱莉・あすみ・佳音・隼也・大智・也実・ひなの・真子・桃花・侑香
文/あすみ
イラスト/朱莉・あすみ・也実・真子・桃花・侑香
写真/朱莉・大智・也実・ひなの・桃花

和室にベッド?!

お部屋に行きました。ビックリしたことは、和室にベッドがあることです。他にはお風呂のスペースがシャワーブースになっていたり、お風呂は、源泉掛け流しのお風呂があります。



コナステイは「旅館創生」「地域活性化」

コナステイがあるところは昔、創業50年の旅館でした。ではなぜ旅館がコナステイになったのでしょうか?それはコナステイのテーマは、「旅館創生」です。これが前に旅館だった事と関係があります。旅館創生とは、旅館が潰れると、あり直してホテルにすることで、3月にできたコナステイも、旅館創生したホテルです。2つ目のテーマは、「地域活性化」です。街の人しか知らないような所をもっとみんなに知ってもらいたいからだと思います。自転車を借りられるだけでもすーいのに、部屋に自転車を入れられませんか?!

コナステイは元旅館?!



自転車は2種類

コナステイで借りられる自転車は2種類あります。それは電動アシスト付き自転車と、クロスバイクです。電動アシスト付き自転車は20台くらいあります。ここで問題です。クロスバイクと電動アシスト付き自転車の数を合わせると何台でしょうか?正解は50台くらいです。少しずつ増やしているそうです。子ども用の自転車もあるそうです。私は自転車に乗れないので、乗れるようになりたいから泊まりに行きたいです。ぜひみなさんも泊まりに行ってください。



KONA STAY



地元で愛され20周年!
ナポリピッツァ&生パスタ専門店ピッツァ作り体験

POMODORO

Italian Restaurant & Dining Bar



ピッツァ職人は夢のある仕事だぜ!
ポモドローは開業20年のピッツァが食べられるお店でお店をやっている人は村越さんご夫婦です。



【Dining Bar POMODORO(ポモドロー)】
伊豆の国市古奈264-4 電話:055-947-4181
営業時間 ランチ 11:00~14:30(L.O.14:00)
ディナー 17:30~22:30(L.O.22:00)
【日・祝日】11:00~21:00(通し営業)
定休日/月曜日

生地は生き物!
日によって温度によってちがう仕事は効率と下準備が大事!計りなんかいらない!

大変!最初は硬いかんじ。すと練るとボールを押さえている左手が痛くなります。

空気をいれるように上から下に練る。空気をいれればふわふわになるよ!

ピッツァ作りはそんなに甘くない!!

1時間練り続ける!

材料は、小麦粉1.8kg。中性水1L。塩50g生イースト3gです。まずは生地作りです。こねるのは1時間です。空気と体温を入れながらねばりが出るまでこねます。私は1時間こね続けるのがすーいと思いました。「手が疲れないのかなあ。」と思いました。



ここで問題です!

ピザとピッツァの違いは何でしょう?
正解は、ピザはアメリカの料理で具がたくさん乗っています。ピッツァはイタリアの料理で、具がありません。なので、生地を楽しむそうです。今回は、ピッツァのマルゲリータを作る事になりました。

みんなで質問!

Q:家にオーブンがない場合はどうすればいいですか?
A:油で揚げる「揚げピッツァ」がいいよ!
Q:お店の名前の由来は?
A:イタリアの「トマト」という意味
Q:「マルゲリータ」の名前の由来は?
A:イタリア王妃が「おいしい!」と言ってその人の名前が「マルゲリータ」だったから

どれだけ生地を触らないでできるか!

丸い生地を指のやわらかい所で押しながら伸ばすのですが、触るたびに固くなってしまいます。すると村越さんが「どれだけ生地を触らないかってことさ」と言いました。
伸ばした生地の上に、トマトソースを塗り、チーズとパルメザンを乗せ、オリーブオイルをたらしました。そして600°Cの石窯で90秒焼きます。焼きあがったマルゲリータは、いい具合の焦げ加減ですごくおいしかったです。

ふちの部分はコルニョーネ!

生地を練る時、空気を生地に入れることでコルニョーネ(外側のふち)の中には空洞ができて、村越さんのように上手な人が作ると焼いた時フワフワになります。下手な人が作ると固くなってしまいます。



ピッツァ作りはちよーたいへん!!



取材/朱莉・あすみ・佳音・隼也・大智・也実・ひなの・真子・桃花・侑香
文/あすみ
イラスト/朱莉・あすみ・佳音・隼也・也実・ひなの・桃花・侑香
写真/朱莉・也実・ひなの・桃花



トマトソースと溶けたチーズともちっとした生地がすーいおいしかったです!

村越さんが生地の手形をハート形にしてくれました!



パン・バター作り体験



ジャージー牛の乳脂肪分は4.3%



きれいな部屋で絞られた牛乳は匂いがないそうです

豊かな自然と良質の水に恵まれた牧場でパン・バター作り体験

大美伊豆牧場

【大美伊豆牧場】伊豆の国市田中山389 ☎0558-79-0016
営業時間 11時～16時
定休日 不定休



生クリームをペットボトルに入れてよくふったら、バターに変身したよ!



取材/朱莉・あすみ・佳音
・さくら・隼也・晴太
・大智・ツバキ・菜緒
・ひなの・真子・真理
・南実・桃花・侑香
・りこ・龍星
文/菜緒・真理
イラスト/朱莉・あすみ・大智
・ひなの・真理・南実
・りこ
写真/隼也・菜緒・ひなの
・りこ

小野登志子

市長のインタビュー



Toshiko Ono
Izunokuni City



Q.好きな食べ物
A. ラーメン(やさい)
A. やさい
Q.好きな色
A. 赤、黄色、白
Q.どうして市長に?
A. 伊豆の国市を見ていた。元は、静岡県のきりんごたくさん勉強して決心!!
Q.小さいころのゆめ
A. 作家
Q. 伊豆の国市をどんな町にしたい?
A. 子どもたちが伊豆の国市の子とまでよかた! という町づくり
ありがとう ございました



取材/脩香・真子・佳音・隼也・竹虎
菜緒・南実・龍星・朱莉
文/真子・南実
イラスト/脩香・菜緒・朱莉・真子

小野市長の好きなものは...?

私たちは、伊豆の国市長の小野登志子さんのインタビューを、伊豆の国市役所に行きました。応接室に入ると、友好都市交流をしているモンゴル国に関する飾りがたくさん飾ってありました。応接室には、市長と応接する際のえらい人が座る高級そうなソファアに、ド庶民の私たちが座らせてもらえたのでうれしかったです。小野市長は私たちのインタビューに優しい声で笑顔で答えてくれました。小野市長は普段いろいろなところにスツと飛んで市の様子を見に行っているそうです。

市長の好きな食べ物は、「特に野菜! いろんな食べ物も選ぶのに困っちゃうくらい好き!」と言ってました。市長はラーメンも好きで、中でも野菜タンメンが好きだそうです。

小野市長の子どもの時の夢は劇作家で、今でもオペラなどの脚本を書いています。また、市長が尊敬している人は、「江川太郎左衛門!」話すとき2時間かかっちゃうほどの大ファンです。江川太郎左衛門を詳しく知りたい人は、市長のころ「GO!」

最後に、小野市長にどんな伊豆の国市にしたいか聞くと、「子どもたちが伊豆の国市の子とまで良かった」と思えるようなまちを作りたいそうです。



本物の小野市長に会えちゃった!

小野登志子市長には、たくさんの質問をしました。「伊豆の国市の好きなところはどこですか?」と聞くと、「伊豆の国の人々が元気に楽しく暮らしているところ」と答えてくれました。他には質問以外でも、取材に来たみんなの夢を市長に話したり、市長のいろんな仕事について話を聞きました。

私は、小野登志子市長の一番近くに座ってました。応接室に入った時は、世界が遠くまでびびりました。すごく大きいイスがあつて、まるでドラマの舞台にいるみたいでした。イスに座って少し経つと、市長がドアを開けて入ってきました。市長は思ったよりすごく大きくて驚きました。さすが「市長」って感じがしました。市長は優しく話してくれました。話している時も聞いて聞かなくておもしろかったです。最初は緊張して話すが怖かったけど、市長が優しく話してくれたから最後には笑って話せました。

みんなで記念写真を撮った時に、市長がすごく笑っていたので、「楽しかったんだな!」と思いました。市長の近くで話せてよかったです。

伊豆の国市の未来を担う子どもたちへ



伊豆の国市 市長公室
石井 侗 介

こんにちは。「広報くん」こと、伊豆の国市広報担当の石井です。取材ではいつも温かく迎え入れていただき、ありがとうございます。

皆さんには無限の可能性が広がります。先には皆さんの道が広がっています。しかし、今はまだ道の道を進んでいくのはわかりません。だから「今」が大切です。人生の少しだけ先輩として、皆さんに「今」伝えたいアドバイスを3つ贈ります。

1つ、「好き」「得意」を増やすこと。スポーツや勉強など、好きなことや得意なことがあると思います。それらとことん楽しんでください。そして、いろいろなことに興味を持ち、それらを少しずつ増やしてください。きっと将来、皆さんの力になるはずです。

2つ、「友達」を大切にすること。人と人との関係は大人になっても続きます。今は友達とよく遊び、よく話しかけ、よく学び、たくさんさんの思い出を作ってください。そして、友達の輪を広げてください。きっと皆さんの将来が、より充実したものになるはずです。

3つ、「笑顔」を絶やさぬこと。笑う門には福来たる。笑顔は忘れなげれば、きっと皆さんの将来は、より幸せなものとなるはずです。

最後に、皆さんが、希望に満ちた輝かしい道を歩んでいくことを祈っています。



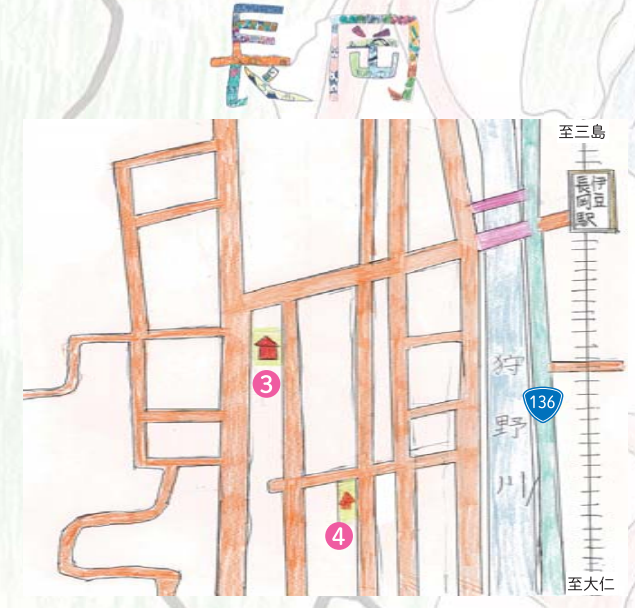
ONO TOSHIKO

ONO TOSHIKO

IZUCCO MAP

笑顔と元気でしあわせをお届け!
① しあわせ印農園
伊豆の国市四日町1084 電話 090-8953-9221

元氣起爆Radio! でパーソナリティ体験
② FMいずのくに
伊豆の国市四日町772 葦山文化センター内
電話 055-940-0877



あゆの友釣り発祥の地
「大仁」の旅館であゆ釣り体験
③ 一二三荘
伊豆の国市大仁503 電話 0558-76-3123

ホッとできるまちの案内所
④ まちすけ
伊豆の国市大仁597-2 電話 0558-76-0030



伊豆の国市

地図/菜緒
イラスト/ひなの・隼也・佳音
あすみ・脩香

子どもたちの創造性を育てて 地域をつなげる活動です。

創造力は生きる力。何かを創り出すことが楽しければ、創ったものは人のためになり、社会をより良くして、地域のつながりが強くなります。

わたしたちの活動

「COLOMAGA Project」は子どもたちが自分の住む「まち」を取材し、プロのクリエイターと一緒にその「まち」オリジナルのローカルマガジン（地域情報誌）を作るプロジェクトです。大人達は、その子ども達のさまざまな活動を支え、異種多世代の交流を促進していきます。

自分の住んでいるまちの楽しい情報を、そのことを知らない人たちに伝えるため、知らない人と出会い、コミュニケーションを取り、自分のセンスで写真を撮って、イラストを描いて、文章を書くために専門家から様々なレクチャーを受けます。そこで教わったスキルを活かして、ローカルマガジン（地域情報誌）を作ります。

子どもたちが、取材を通して出会った人たちとのコミュニケーションは、世代を超えた交流やキャリアの体験となり、出会った人たちが教えてくれた、その「まち」の魅力を知れば知るほど、自分の「まち」が好きになっていきます。自分のまちが好きになると、そのまちが自分の居場所になっていく。そしてそのまちのために何が出来るだろうと考えられる人が一人でも多く育って欲しい。COLOMAGA Project はそんな思いで活動しています。

SDGs ESD-J KIDS DESIGN AWARD

わたしたちの活動は、SDGs【持続可能な開発のための2030アジェンダ】の17のゴールのうち「No.4質の高い教育をみんなに」「No.11住み続けられるまちづくりを」を実現するための実践者として、ESD-J【持続可能な開発のための教育】の「未来を変える人づくり」活動として高く評価されています。その活動が認められ、2018年、経済産業省が制定した「キッズデザイン賞・子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」において受賞することができました。SDGs、キッズデザイン賞と広く社会に認められた活動を通して、未来を担う子どもたちの育成と地域づくりに貢献できればと思います。



ぜひ、この活動をサポートしてください

① この活動にぜひ参加してください！

子ども達の創造性を活かす機会として、雑誌をプロと一緒に作る、この活動に参加してください。作る側でなくても、地域の大人のひとりとして、自分の経験や知識を子どもたちと地域のためにぜひ活かしてください！もし、ご自分で子どもたちと一緒にローカルマガジンを作りたい方は、ぜひご相談ください。わたしたちの仲間が、企画・告知・集客・取材・制作・デザイン等についてノウハウを提供し、サポートさせていただきます。

② コロマガプロジェクトがもっと有名になるのをサポートしてください。

COLOMAGA Project 発足当時、小学生として参加した子どもたちは、もう高校生になりました。その子たちが自分の中の変化や、地域に対する思い、活動への思いを、みなさまの前で講演させていただきます。また、これまでの活動内容や実績を、主催者の大人たちが、みなさまの前でお話いたします。この活動の効果、実績を知りたい方がいらっしゃいましたら、ぜひ事務局までお問い合わせください。

③ 活動が継続できるように、資金のご支援をお願いいたします。

この活動に賛同していただけたら、ぜひ活動資金のご支援をいただければと思います。

【法人の方へ】
 次世代を担う子どもたちの育成は、CSR活動やSDGsの推進の一環にもなり、企業としての社会的な責任を果たすことが出来ます。ぜひご相談ください。

【個人の方へ】
 ご寄付は下記の振込先までお願いいたします。

【ご支援いただきました方へのお礼】
 ・冊子にお名前を掲載させていただきます。
 （希望者のみの掲載になります。）

※お振込の際は、お名前(漢字)と連絡先をメール等でお知らせください。

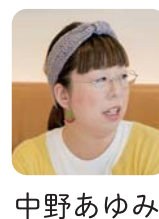
ご寄付の振込先
 スルガ銀行 函南支店 普通口座 3640030
 口座名義：コロマガプロジェクト イズノクニシパン
 セイサクジツコウインカイ
 ダイヒョウ ナカノアユミ

連絡先：colomaga.izunokuni@gmail.com

編集後記 ●参加してくれたメンバー（五十音順）



株式会社カラーコード
 クリエイターチームカラフル
 いよいよIZUCCO創刊ですね！取材を通して見た自分のまちに何を感じたでしょうか。デザインや絵は、上手く描く技術より先に、何を感じるかが重要。これからも自分のまちの素顔を感じてください。



IZUCCO
 制作実行委員長
 伊豆市の「KURURA」の活動を伊豆の国市でも！と手を挙げてから1年。皆様のご協力により、IZUCCOを創刊できました。活動を通してまちを知り、好きになってくれた子どもたちが、未来の伊豆の国市を支えてくれると信じています。



IZUCCO
 制作実行委員
 体験・取材・制作を通して、子どもたちの創造性に驚きの連続でした！そんな子どもたちの思いがギュギュッと詰まった一冊です。ぜひ、たくさんの方に読んでいただきたいです。



IZUCCO
 制作実行委員
 子どもたちの、伊豆の国市愛を高めたい！と実行委員へ参加しました。参加した子どもたちがIZUCCOを自慢して、地域愛がどんどん伝染していったら嬉しいです。



IZUCCO
 制作実行委員
 先輩誌KURURAに出会いその魅力に引き込まれ、いつか制作に関わってみたいとずっと思っていました。子どもたちが見つけた「いいら！」がギュッと詰まったこの一冊に関わった事に感謝します。



IZUCCO
 制作実行委員
 活動を通して、子どもたちの笑顔とパワーには沢山刺激を貰いました。真夏の取材や制作ワーク、大変な事もありましたがどれも良い経験です。皆で創り上げたIZUCCOが多くの人に届きますように！

●講師陣プロフィール



カメラ講座
 ファミリーフォトスタジオヒコ代表
 渡邊孝正



ライティング講座
 地域メディアライター
 榎 昭裕



取材講座
 伊豆日日新聞代表
 小川勝之



イラスト講座
 似顔絵屋 Tomomi
 長倉智美

「写真の撮り方のコツ」を小学生の皆さんにレクチャーさせていただきました。楽しく話を聞いてくれるみんなの姿を見て、とても嬉しく感じました。これからもたくさん写真を撮ってください、きっと良い思い出になるはずですよ！

今回は「どのように知らない人にモノを伝えるか」をテーマにワークショップを行いました。どの子どもたちもとても楽しく紹介してくれました。この気持ちが将来、このまちの未来を語る「語り部」になるよう期待しています！

みんなが取材活動や編集作業を頑張った情報誌が、ついに完成しました。多くの人たちに楽しんでもらえれば良いですね。この活動をきっかけに、「将来は新聞記者になりたい」と思っていた子どもはいるかな？

イラストの描き方講座では[人に伝わるイラスト]というテーマで話をしました。さすがは子ども記者達！話を聞く姿勢、伝えようとする気持ちがにじみ出ていて、私からはほんの少しのアドバイスだけでとても素敵なイラストを描き始めていました。逆に私が教えられた気分です。ありがとうございました！

●発行／監修：IZUCCO制作実行委員会

編集：IZUCCO制作実行委員会
 協力：伊豆市若者交流施設9izu、いさぶや印刷工業株式会社
 制作：IZUCCO制作実行委員会
 クリエイターチームカラフル、～貴方にあかりを灯します～akari、堀江弓子、井上民子
 デザイン：山田真子
 サポーター：（ご寄付いただいたみなさま 敬称略 順不同）
 ISABUYA CREATIVE
 タイトルロゴ：真子
 なめらかさん、溝田哲也、山本和史、高橋 健、川口由佳、川口 敦、澤田直志、加藤佳菜
 表紙・裏表紙イラスト：澤菜、竹虎、さくら、菜緒、南実、龍星
 「ヘナとカットのお店CHIPI」大石アンコ、國木あさみ、中島弓枝、鈴木陽子、山本純乃
 辰ノ口奈穂子、コロケさん、お菓子屋かむ、瀬戸京子、滝戸設備、清水 彩、杉本真実
 神田辰也、スズケイイチ、タカハシコムテン、匿名(4名)
 後援：伊豆の国市・伊豆の国市教育委員会
 お問い合わせ：IZUCCO制作実行委員会 colomaga.izunokuni@gmail.com ☎055-900-1195
 〒410-2124 静岡県伊豆の国市原木627 代表 中野あゆみ